

国際オリンピック委員会（IOC）と国際ワールドゲームズ協会（IWGA）の間での合意についての覚書

国際オリンピック委員会（IOC）と国際ワールドゲームズ協会（IWGA）は、社会の福利のために身体やスポーツの活動を促進するという同じ価値観を共有している。

IOC は、複合スポーツイベントとして「ワールドゲームズ」の重要性を認めており、ワールドゲームズ協会は、オリンピック精神とオリンピック憲章に基づいて、その活動を展開することに全力を傾けている。さらに、オリンピックアジェンダ 2020 の提言 6.1 は次のように述べている。

「IOC と IWGA は、スポーツプログラムの構成およびそれぞれの評価に関して緊密に協力する」

IOC と IWGA は、以下のような諸原理に基づいて、お互いの包括的な協力関係をよりいっそう高めることを望んでいる。

- IWGA は、IWGA の会員である各国際連盟（IFs）の支援と提供によって、「ワールドゲームズ」のスポーツプログラムを見直して、よりいっそう展開することを厭わない。
- IWGA は、オリンピックのプログラムに入っていないイベントのみが、ワールドゲームズのプログラムに含まれるということを受け入れる。
- IWGA は、そのスポーツの国際連盟が IOC に承認されているか、AIMS の正会員であるか、IWGA の会員である場合に限り、ワールドゲームズの公式スポーツプログラムに含まれるようにする。
- IOC は、「ワールドゲームズ」の運営委員会に支援を与え、技術的な援助を行うことに同意する。
- IWGA は、あらゆるスポーツにおけるアスリートと審判員が「ワールドゲームズ」で複合スポーツ大会の国の代表団として参加することの重要性を認識している。
- IOC は、各国のオリンピック委員会（NOCs）が、複合スポーツ大会の国の代表団が「ワールドゲームズ」に参加することを支援し、サポートするように促す。
- IOC と IWGA は、お互いのコミュニケーションとマーケティングプログラムに関して、密接に協力する可能性を探るものとする。

- ・ IWGA は、世界アンチ・ドーピング機関（WADA）と密接に取り組んでいく関係性をこれからも発展させていくものとする。それにより、教育と検査プログラムを促進し、また世界アンチ・ドーピング規程に従って「ワールドゲームズ」で行われるドーピングコントロールを向上させる。
- ・ IOC から IWGA に与えられるいかなる財政的支援も、団体ごとに別々に処理されるものとする。
- ・ IOC は、必要とされる場合に、その専門的知識・技術を提供するものとする。また、そのスポーツ部門を通じて、IWGA との協力関係を継続させるものとする。そして、オリンピックムーブメントの範囲内で IWGA の活動を促進することを助けるものとする。

この合意についての覚書は、両方の団体によって署名された日から効力を発するものとする。また、2000年10月27日にIOCとIWGAの間で交わされた合意についての覚書に優先するものとする。この合意についての覚書は、期限なく有効でありつづけることになるが、一方の団体が他方の団体に対して書面で打ち切りを伝える場合はその限りではない。そうした打ち切りは、すぐに効力を発するものとし、またそれは、この合意についての覚書のもとで、どちらか一方によってすでに締結されたあらゆる契約的な義務に従うものとする。

この合意についての覚書は、ここに記された団体の書面による同意によってのみ、修正することができる。

2016年4月19日、ローザンヌ（スイス）にて、二つの原本を英語で作成した。

トーマス・バッハ
国際オリンピック委員会
会長

ホゼ・ペルレナ
国際ワールドゲームズ協会
会長